



憲法・いのち・社会保障まもる10.20国民集会 医療、介護従事者ら3000人が白衣のアピール行動

10月20日、社会保障の充実、医師・看護師・介護職員
の大幅増員などの実現を求めて「憲法・いのち・社会保
障まもれ10.20国民集会」が東京・日比谷野外音楽堂で
開かれ、医療や介護にはたらく仲間など全国から3000人
以上が参加しました。



集会実行委員会

を代表して主催者挨拶した日本医療労働組合連合会の中
野千香子委員長は、いのちをまもる医療・介護労働者と
いのちを奪う戦争法は相いれません。憲法まもれの声を
大きく広げましょうと訴えました。



著名人からのエールとして、『下流老人・一億総老後
崩壊の衝撃』（朝日新書）の著者でもあるNPO法人ほっと

プラス代表理事・社会福祉士の藤田孝典さんが駆けつけ、連帯あいさつをしました。

藤田さんは、安倍政権のもとで広がる「格差と貧困」をストップ
させるには、一人ひとりの国民が声をあげていくことが大事と訴え
ました。集会には、各界著名人や医療関係団体、国会議員などから



多くの賛同・メッセージが寄
せられました。

集会後、参加者は要求プラ
カードや横断幕を掲げて銀座
中央通りを東京駅までパレ
ードしました。



(集会実行委員会) 全国保険医団体連合会／全日本民主医療機関連合会／日本医療福祉生活協同組
合連合会／新日本医師協会／日本自治体労働組合総連合／全国福祉保育労働組合／全国大学高専教職
員組合／日本医療労働組合連合会／東京医療関連労働組合協議会／中央社会保障推進協議会／10団体